



序 文

六甲病院長

瀬 藤 晃 一

平成7年1月17日午前5時46分、阪神・淡路地方をおそった大地震は震度7を記録し、未曾有の大災害を神戸地方にもたらしました。家を失った方々も多数あり、交通機関も全く動かない中で六甲病院の職員の方々の奮闘ぶりは高く評価したいと思っています。情報やライフラインがすべて途絶し、ローソクの光の下での縫合、人工呼吸、心臓マッサージ等の救急処置や遺体安置、遺体検案等を思いだすのもおぞましく、地獄の様な数日間を体験し、この恐らく一生に二度と経験しえない様な事項を記録し、後世に伝えることは我々医療人の責務と考え、雑誌にまとめることにしました。医薬品、衛生材料、燃料、水、食料等の急配に御援助いただいた連合会本部及び傘下病院の皆様方に感謝するとともに、執筆していただいた本院の各位に感謝し、今後の一層の奮闘を御祈りします。

(c)1995国家公務員等共済組合連合会 六甲病院 (デジタル化:神戸大学附属図書館)

六甲病院職員に対する挨拶

国家公務員等共済組合連合会 理事長

古 橋 源六郎

病院長や職員の皆様方には、さる1月17日未明の兵庫県南部地震により被災され、家屋や家財等にはかなりの被害があったとうかがってはおりますが、被害に遭われた皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。また、皆様や家族の方々の命に別条がなかったことや、入院中の患者にも怪我をした方などがなかったことは何よりのことと思っております。

神戸市内の被害状況は、新聞・テレビの報道で承知しておりましたが、六甲病院については、建物などに幸い大きな被害はなかったとの報告は受けておりますものの、本部から派遣した連絡要員の撮影した写真等をみて、他の建物ほどではないとはいえ、その凄まじさに改めて大変な災害だったと再確認した次第であります。

皆様方には、被災されておられるにもかかわらず、病院へ出勤され、震災直後から当院に多数運び込まれた被災者の方々を、職員の二～三割のみがかりうじて出勤する中、不眠不休で診療に献身的なご努力をなされたとうかがっております。

それは非常に厳しい業務であったと存じます。私は、皆様が連合会病院という公的な色彩の強い病院に期待される社会的責務を精一杯果たしていただいたことに、深く感謝申し上げたいと思います。

本部におきましては、震災直後より、近隣の直営・旧令病院に、当六甲病院に必要な物資等の搬送をお願いいたしました。各病院には快くご協力をいただき、それぞれさまざまな工夫を凝らしながら、当院への援助活動を実施していただいたものと承知しております。

これらにより、ガス、水道の復旧前から他の近隣病院に比べて入院患者の生活にかなり配慮した取り組みができたのではないかと思います。

被災者の方々の避難生活はまだ当分の間続くものと認められ、医療上配慮しなければならないことが種々出てくると思われますので、病院長をはじめ職員の皆様には、兵庫県の救援センターに派遣されている各連合会病院の職員とともに、避難所の被災者の対する診療活動など地域医療の面で、兵庫県との連携を図りつつ一層のご努力をお願いしたいと思います。

やっと病院としての医療活動も一段落し、皆様方の中にはこれまでの住まいの近くで新たな住居を求められようとしておられる方も多いとうかがっておりますが、本部としてもできる限りのご協力をしてまいりたいと考えております。また、今回の被災に伴い連合会本部に対して要望事項、ご意見等もあることと存じますが、どうぞご忌憚なくおっしゃっていただき、これに可能な限りお応え申し上げてまいりたいと存じます。

終わりに、地震直後からの関係者の皆様の医療活動におけるご尽力に感謝申し上げますとともに、今後皆様方の生活が一日も早く安定されますことを祈念いたしまして私のご挨拶といたします。

平成7年2月16日

月・日	六甲病院の出来事	兵庫県下の主な出来事
7.1.17(火)	入院患者に怪我人なし。本館と新館、健康管理センター、看護婦宿舎、管理棟の建物自体には特別な損害なし。しかし、ボイラー棟と木造管理棟の壁面破損、院内の道路に多数の亀裂と隆起、煙突の半分のところの亀裂がはいり危険。 建物内部では、カルテ棚、フィルム棚、図書室の本棚、薬局の薬棚、各部署の器具棚、書類棚など、ほぼすべて転倒、倒壊。なかでも、健康管理センターのFCRの倒壊は大きな損害であった。 ライフライン(ガス、電気、水道)途絶。新館系統自家発電機(空冷式)1台のみ運転。院内電話も交換機の蓄電池が消耗してほぼ1日で途絶。 6:40頃 この頃から、怪我人が続々駆け込んで来始めて本館の1階、2階ごったがえす。 8:30頃 この頃から、家具などで圧死した人(DOA)が戸板などに乗せられて担ぎ込まれ始める。	午前5時46分、阪神地区を中心に広い範囲で強い地震が発生した。震源地は淡路島で、震源の深さは約20km。規模はマグニチュード7.2、神戸市の震度は6と発表された。
	10:15 院内での死亡確認9人。病院より多数の火事が見え、ヘリコプターが飛びかっている。 14:00 患者用給食のため、給食棟横にブロックを積み、応急のカマドを作り炊き出し開始。 15:40 薬品、特に消毒薬の不足が目立つ。連合会本部に救援を依頼。 17:00 職員の出勤状況 医師15人、看護婦38人、放射線技師1人、検査技師5	午後1時30分現在 兵庫県での死亡確認436人、行方不明583人、負傷者1,377人、家屋の全半壊約2,000戸、余震526回(内有感地震43回)。市内各地で火災多数発生。JR、阪急、阪神、高速道路、一般道路など交通機関は全面マヒ状態。なかでも阪神高速道路は、東灘区、中央区において橋桁落下。

	人、その他5人、計64人。 取り扱い患者 軽傷約400人、重症63人、重篤入院37人、死亡数28人。 職員の住居の状況 全壊16戸、半壊31戸、一部損壊63戸、家財の損壊21人 深夜 大手前病院よりパトカー先導で救護物資の第一便到着。 以後連日。	
7.1.18(水)	9:00 職員の出勤状況 医師15人、看護婦33人、検査技師4人、薬剤師2人、その他6人、計60人 当分の間、患者食を1日2回とする。 17:00 本日の外来数400人、内入院7人、死亡4人 22:30 ライフラインの内、電気のみ復旧	神戸市営地下鉄が午後、西神中央－板宿運転再開。 関西電力発表、震災により約40万戸停電中、神戸市など5市4町の全域約229万9千戸で断水中、 午前0時45分現在 死者2,014人、行方不明1,058人、負傷者11,977人 家屋損壊11,920戸。
7.1.19(木)	0:24 帝王切開を行う。(女児出生。) 2:00 高松病院から救援物資が届く 9:00 医事課受付に災害対策本部を設置する。本部長は病院長、副本部長は事務部長 本日から血液検査の一部を開始する。 職員の出勤状況 医師20人、看護婦32人、薬剤師3人、検査技師5人、放射線技師4人、その他11人、計75人。 広島記念病院、呉共済病院から広島県警ヘリコプターで救援物資が神戸王子競技場に届く。	午後0時45分現在 死者3,130人、行方不明884人、負傷者16,202人、家屋の損壊31,695戸。 JR山陽本線、尼崎－甲子園は運転再開。 JR山陽新幹線姫路－岡山運転再開。 国道2号線災害対策基本法に基づく交通規制開始。

	9:00 舞鶴共済病院から救援物資届く。 14:00 トイレ用水を杣谷及び六甲川から運ぶ。 17:00 本日の外来数350人、内入院6人、死亡0。 理事長からお見舞のファックス イ. この度の地震災害に際しての病院職員一同の御奮闘に感謝します。被災者の方々の安全のため、引き続き最大限の努力をお願いいたします。ご要望の点があれば本部に御連絡下さい。 ロ. 六甲病院の職員及び、その家族のために必要なものがあつたら連絡されたい。	
7.1.20(金)	9:00 職員の出勤状況 医師21人、看護婦39人、薬剤師3人、検査技師8人、放射線技師4人、その他21人、計96人。外来関係のトイレを各ヶ所1ヶ所のみ使用とし、残り全部を閉鎖する。 12:00 合同庁舎診療所を調査に行く。第1合同庁舎診療所はロッカー、棚等が全部倒壊、壁には亀裂が入っている。第2合診療所は、立入禁止となっている。 16:00 本日から連合会本部病院部から人的対策等の応援の為、川崎経営指導専門役、上島病院課主任が来院。	午後0時45分現在 死者4,124人、行方不明729人、負傷者21,673人、家屋の損壊30,576戸。 東海道新幹線東京一新大阪運転再開。避難所1,719ヶ所、避難者313,500人。気象庁は神戸市中央区と淡路島の1部を震度7(激震)と発表。
7.1.21(土)	9:00 職員の出勤状況 医師22人、看護婦35人、薬剤師4人、検査技師6人、放射線技師1人、その他15人、計83人。	午後0時45分現在 死者4,614人、行方不明447人、負傷者24,650人、家屋の損壊46,725戸。

7.1.22(日)	9:00 昨日迄、今回の震災で4遺体が積っていたが本日で全遺体を引取っていただいた。 職員の出勤状況 医師20人、看護婦22人、薬剤師2人、その他11人、計55人。	
7.1.23(月)	8:30 本日から外来診療を緊急体制より平常診療にきりかえる。 11:00 簡易トイレ4台を設置する。 11:00 鹿島建設が六甲病院被災状況調査を行う。 17:00 本日から運輸省第三港湾建設局職員研修所を六甲病院職員の宿泊所として借り受ける。	午後0時45分現在 死者4,988人、行方不明153人、負傷者26,120人、家屋の損壊52,517戸。
7.1.24(火)	8:30 兵庫県医務課の要請により神戸市東灘区野寄公園の救護所に連合会の病院から医療スタッフが出向する。 ・ 連合会本部より武田病院業務第一課主任来院。	午後0時45分現在 死者5,063人、行方不明95人、負傷者26,300人、家屋の損壊56,427戸。
7.1.25(水)	10:00 給水管破損部修理開始。 13:00 電気給湯機の設置により患者入浴を開始する。本日から胃内視鏡検査を再開する。 上島病院課主任本部に帰られる。	午後0時45分現在 死者5,070人、行方不明69人、負傷者26,500人、家屋の損壊74,365戸。
7.1.26(木)	10:00 道路補修工事開始。 12:00 本日から1日人間ドック控室で災害対策委員会を毎日開催する。(出席者は各科課長。) 連合会本部より飯田病院業務第二課主任来院し、川崎経営指導専門役本部に帰ら	午後0時45分現在 死者5,079人、行方不明60人、負傷者26,618人、家屋の損壊74,442戸。

	れる。	
7.1.27(金)	9:00 震災により半分折れかかっていた煙突の撤去工事を始める。17:00完了。 事務部長室に震災に関する相談窓口を設置する。	午後0時45分現在 死者5,083人、行方不明51人、負傷者26,744人、家屋の損壊90,544戸。
7.1.28(土)	武田病院業務第一課主任本部に帰られる。	午後0時45分現在 死者5,090人、行方不明29人、負傷者26,764人。
7.1.29(日)	8:30 本日から患者食を1日3回に戻す。 9:00 外来者用駐車場復旧。	
7.1.30(月)	8:30 神戸地方合同庁舎診療所、診療を再開する。 13:00 ボイラー用中圧都市ガス復旧。 14:20 心臓カテーテル検査施行。 15:35 S状結腸穿孔手術施行。 連合会本部より増川病院業務第一課課長来院し、飯田病院業務第二課主任と交代	午後0時45分現在 死者5,094人、行方不明13人、負傷者26,798人、家屋の損壊99,515戸 JR須磨－神戸駅運転再開。
7.2.1(水)	8:30 冷温水管修理完了。暖房可能となる。 13:00 本日から野寄公園の救援所に鈴木神経科医師が水・金の午後出向する。 17:00 女子寮の浴室で本日から職員の入浴を開始する。	午後0時45分現在 死者5,102人、行方不明11人、負傷者26,803人、家屋の損壊105,564戸。 阪神三宮－神戸高速運転再開。
7.2.2(木)	13:40 ・連合会本部、小林病院部長視察の為来院。 連合会本部より安田病院業務第一課課長代理来院し、増川病院業務第一課課長と交代。	午後0時45分現在 死者5,103人、行方不明9人、負傷者26,804人、家屋の損壊106,817戸。

7.2.3(金)	9:00 小林病院部長、関係官庁挨拶廻り。	午後0時45分現在 死者5,104人、行方不明6人、負傷者26,804人、家屋の損壊107,388戸。
7.2.4(土)		午後0時45分現在(未検死者等認定) 死者5,244人、行方不明6人、負傷者26,804人、家屋の損壊107,610戸。
7.2.6(月)	・安田病院業務等一課課長代理本部に帰られる。	
7.2.7(火)		午後0時45分現在 死者5,273人、行方不明6人、負傷者26,815人、家屋の損壊109,464戸。 神戸電鉄鈴蘭台-長田運転再開。 気象庁は神戸市須磨区から西宮市にかけて延長20キロ幅1キロ及び海岸側の帯状の地域、淡路島の津名町など10地域に震度7(激震)を発表。 JR東海道線芦屋-住吉、運転再開。
7.2.8(水)	1月分保険請求を社保国保ともに概算払い請求手続を行う。 手術室本格的に稼働開始	午後0時45分現在 死者5,277人、行方不明6人、負傷者26,815人、家屋の損壊109,464戸。
7.2.9(木)	転倒防止作業完了。	午後0時45分現在 死者5,291人、行方不明6人、負傷者26,815人。
7.2.12(日)	水道が復旧した。	午後0時45分現在 死者5,317人、行方不明4人。
7.2.13(月)		午後0時45分現在 死者5,318人、行方不明4人。
7.2.14(火)	水道が復旧したため仮設のトイレを返却する。	午後0時45分現在 死者5,329人、行方不明2人。
7.2.15(水)	低圧ガスが復旧した。人間ドックを再開する。	午後0時45分現在 死者5,348人、行方不明2人。 厚生省は14日、阪神大震災の被災者の医療費について患者が支払う一部負担金と入院時の給食費を一律免除を決定。 神戸市営地下鉄、全線復旧(但し新長田、上沢、三宮の3駅は通過)。
7.2.16(木)	連合会本部山本常務理事が病院視	

	察並びに職員激励の為、来院する。 理事長の挨拶を代読。	阪神大震災から1ヶ月経過。 避難所で暮らす被災者213,000人。電気は1月23日までにほぼ回復、水道は179,000戸断水。ガス、被災地域の30%復旧。 震災被害と救援活動 死者5,373人、行方不明2人、負傷者34,568人、全壊家屋82,105棟一部損壊(半壊を含む)98,892棟。 火災発生件数531件、焼失面積推定100ヘクタール、鉄橋高架の落下21ヶ所、脱線15本、トンネル破損5ヶ所、駅舎施設損壊40ヶ所。高速道路の橋桁落下9ヶ所(円橋脚倒壊6ヶ所)、24港で港湾損壊 電気損壊箇所 約100万戸、復旧率 100% ガス " 857,400戸 " 30.5% 水道 " 1,219,000戸 " 85.0% 電話 473,500回線 " 100% 救援活動 救援活動延べ数 陸上自衛隊425,000人 車両86,000台 航空機2,500機 海上自衛隊99,100人、艦艇432隻 航空機750機 航空自衛隊230機 消防団員61,000人 海上保安官32,000人 医師、看護婦約45,000人 他府県からの応援職員90,000人 警察官最大時30,000人／日 消防職員最大時8,000人／日 兵庫県などへのボランティア申し込み、24,000件 仮設住宅建設予定数40,000戸 入居済戸数463戸 入居人員約1,400人
7.2.20(月)		JR灘－神戸運転再開。 阪神電鉄岩屋－三宮運転再開。
7.2.24(金)	院内災害対策委員会、解散する。	

7.2.28(火)	職員の住宅全壊者に係る住宅借上げを大蔵省に依頼。灘区鶴甲にマンション借上げ。	
7.3.13(月)		阪急三宮－王子公園運転再開。 救援活動延べ数 陸上自衛隊425,000人 車両86,000台 航空機2,500機 海上自衛隊99,100人、艦艇432隻 航空機750機
7.4.1(土)		JR東海道線 〃 住吉－灘駅復旧全線開通。
7.4.8(土)		JR山陽新幹線 大阪－姫路間復旧全線開通。
7.6		阪急電鉄御影－西宮北口復旧全線開通。
7.6.28(水)	連合会本部に今回の大震災に係る復旧工事費の申請する。工事費概算額146,363千円、施工時期、平成7年8月施行予定。	阪神電鉄岩屋－御影間復旧全線開通。

(c)1995国家公務員等共済組合連合会 六甲病院 (デジタル化:神戸大学附属図書館)

震災 救援薬品一覧表

薬剤科

薬品名	規格	在庫量	薬価額
80%エタノール	16,000	7	236,880
KN3 B200ml	30	20	106,800
KN3 B500ml	30	23	131,100
KNMG 3号500ml	30	20	123,600
PL顆粒1,000g	1	1	7,700
アクチッド500ml	20	20	148,400
アドナ注射液100mg	50	13	104,650
アドナ注射液50mg	50	10	45,500
アミサリン注射10% 2ml	10	5	4,500
アミノレバン200ml	10	10	65,100
アミバレン200ml	10	50	225,500
アルデシン	10	3	46,350
アルブミンカッター25%50m	1	100	821,800
イセバシン200mg	10	20	198,000
イソジンバーム	500	5	
イソジン消毒液250ml	20	14	308,000
イドメシン・コーワゲル50g	50	1	36,500
イドメシンパップ5枚入り	100	20	98,600
イノバン	1	20	35,600
イノバン100mg	50	10	890,000
インチバシクリーム25g	50	1	18,250
インデラル注	10	5	6,750
イントラファット200ml	20	1	16,900
エンシュア リキッド	24	20	116,400
オゼックス錠	900	5	622,750
カルベニン0.5g	10	60	1648,800
キシロカイン0.5%20ml	1	10	49,200
キシロカイン0.5% 3ml	10	10	27,000
キシロカイン1%20ml	1	110	29,260
キシロカインゼリー30g	5	20	30,900
ケイテン1.0g	10	10	261,700
ケフラールカプセル	500	5	228,750
ケフラール細粒	100	50	389,000
ゲンタシン軟膏10g	10	6	11,700
シオマリン1.0g	10	80	1496,000
シンバス100g	80	20	195,200
シンバス200g	40	5	48,800
スリベラゾン1.0g	10	10	229,700
セデスG	600	6	46,800
セファメジン1g	10	10	85,000
セファメジン2.0g	10	200	3068,000
セフゾンカプセル100mg	500	2	138,000
ソセゴン15mg	50	2	10,900
ソフトチュール10cmx10	10	20	11,100
ソルコセリル注2ml	10	10	18,800

薬品名	規格	在庫量	薬価額
ソルコテフ100mg	5	10	26,800
ソルメドロール125mg	5	10	50,100
ソルメドロール40mg	5	10	37,000
ソルメドロール500mg	5	10	301,000
ダラシンS600mg	10	100	1066,000
チュナム0.5g	10	180	4849,200
テオドール100mg	1,000	1	19,900
テオドール200mg	1,000	1	31,100
トランサミンS注射用1g	50	3	28,350
トランサミン注250mg	50	13	48,750
トリバレン1号600ml	10	20	132,600
トリバレン2号600ml	10	20	139,200
トロンビン10,000U	10	5	131,500
トロンビン5,000U	10	5	91,000
ドイル注射用1.0g	10	20	162,800
ドブトレックス100mg	10	50	1175,000
ドリース	1,000	1	12,000
ニトロール注	10	60	279,600
ネオビタカイン5ml	100	3	69,600
ネオフィリン	50	1	4,500
ネオフィリン	200	5	90,000
ノルアドレナリン	10	20	18,000
パンスポリン注1.0g	10	40	679,600
ヒビスクラブ	500	50	
ヒビデール25ml	20	30	24,660
ビーエヌツイン2号	7	13	152,971
ビーエヌツイン3号	7	3	40,194
フルマリン1.0g	10	200	5120,000
ブラスマネート・カッター	10	43	3633,500
ブレドニン錠	500	2	9,000
ブレドニン水溶液10mg	50	5	39,000
ブレドニン水溶液20mg	50	5	75,000
ヘルベッサー注50mg	10	10	291,000
ベンクロシドエタノール500m	10	5	32,750
ペンタジン注15mg	50	2	10,900
ペントシリン1.0g	10	200	1572,000
ペントシリン2.0g	10	200	2692,000
ホスミシンS2g	10	10	151,800
ボスミン注1ml	20	20	36,000
ボルタレンSP25mg	50	100	479,500
ボルタレンSP50mg	250	20	599,500
ボルタレンSP50mg	50	3	17,985
ボルタレン錠	2,100	1	48,090
ボルタレン錠	1,000	1	22,900
ボルタレン錠	3,000	5	68,700

震災 救援薬品一覧表 薬剤科

薬 品 名	規格	在庫量	薬価額
ボタコールR250ml	30	19	131,670
ボタコールR500ml	30	20	183,600
マーカイン0.125%100m	1	5	7,700
ミリスロール50mg	10	10	684,400
ミリスロール5mg	10	20	174,200
メイロン7%20ml	50	9	40,500
メブチンエアー	10	3	38,700
メブチンキットエアー	10	2	18,520
モーラス	960	2	100,800
モリブロン200ml	1	18	7,290
ラクテック500ml	30	15	93,150
ラクテックD500ml	30	10	60,600
ラクテックG500ml	30	10	59,400
ラクテックph8 500ml	30	5	31,050
リスモダンP	10	5	28,400
リンデロンVG軟膏5g	50	2	22,600
レベタン0.2mg	10	10	24,000
ロカイン1%2ml	10	40	36,000
ロカイン1%5ml	10	5	4,500
ロキシニン	3,150	1	117,810
ロキシニン	1,000	1	37,400
塩化カリウム1モル10ml	30	10	18,000
手術用イソジン液500ml	1	20	59,400
生食(点滴)500ml	30	20	108,000
生理食塩液100ml	10	144	200,160
生理食塩液20ml	50	60	180,000
生理食塩液TN	10	80	281,600
精製水1	20	1	1,440
大塚食塩注	50	10	30,000
大塚精液20%20ml	50	50	150,000
大塚精液5%100ml	10	96	136,320
大塚精液5%250ml	30	20	111,000
大塚精液5%500ml	30	25	139,500
注射用蒸留水(洗浄用)500m	30	10	426,000
注射用蒸留水500ml	30	21	447,300
表麻用キシロカイン100ml	1	30	4,920
エタノール	16,000	3	76,320
50%イソプロパノール	500	50	16,500
50%イソプロパノール	15,000	2	19,800
20%ヒビテングルコネート500	10	3	110,550
5%ヒビテン液500ml	10	3	57,500
ハイアミンT500ml	20	2	19,600
合 計			41,497,490

阪神大震災における救急患者診療状況調査

月日（曜）	受け入れ 患者数	左の内入 院となっ た患者数	DOAな いし死体 検案した 患者数
1／17（火）	500	37	28
1／18（水）	400	7	4
1／19（木）	350	6	
1／20（金）	300	4	
1／21（土）	300	2	
1／22（日）	150	4	
1／23（月）	300	6	
1／24（火）	278	6	
1／25（水）	268	7	
1／26（木）	220	3	
1／27（金）	330	5	
1／28（土）		4	
1／29（日）		5	
1／30（月）	324	7	
1／31（火）	292	10	
計	4,012	113	32

患者さんをお願い 平成7年1月31日

地震が起こったら（原則） 六甲病院

- 1 建物は十分強いと考えられますのでみだりに屋外に出ないでください。
- 2 ストープなど、火事の原因となる火の元をただちに消して下さい。
- 3 エレベーターは絶対に使わないで下さい。
- 4 入院患者さんはふとんをかぶってベッド上にいてください。
- 5 懐中電灯や貴重品、防寒衣類はすぐ手に取れるように枕元に置いてください。
- 6 TVやロッカーの上に、頭に落ちてきそうな物を置かないでください。
- 7 ドアが動かなくなることがありますので入口のドアは少し開けておいて下さい。
- 8 避難口は確認しておいてください。
- 9 廊下や外来にいる患者さんは、倒れそうなもの（機械棚、フィルム棚など）から離れてください。

災害対策マニュアル

本マニュアルは火災、洪水（土石流）、巨大台風、震度 5 以上の災害が発生した場合に適用する。

- 1 病院が上記災害に見舞われた際には、病院長は非常災害を宣言し、直ちに非常災害対策本部を院内医事課におく。
- 2 対策本部長は院長、院長欠の場合は副院長、ついで事務部長、庶務課長の順にこれをつとめる。
- 3 本部長は本部にあり、状況に応じて適宜指示、命令を出し、職員はこれに従い、また、災害の状況（発生時及びその後の状況）を 1 日 2 回（9 時、15 時）連合会本部に連絡すると共に、県、市、医師会、消防署とも緊密に連絡する。
- 4 その業務は人命の救助を第一とする。そのためには、施設を犠牲にするも止むをえない場合がある。
- 5 庶務課員は連絡網を確認し、速やかに職員との連絡をはかり、職員の安否を確認する。また、職員各自も自発的に病院に連絡をとり、病院の要請に応えなくてはならない。
- 6 原則としてすべての職員は、家族の安全を確認した後、直ちに万難を排して病院へ急行する。
- 7 ふだんより地域住民、行政との接触を密にする。
- 8 訓練は年二回必ず実施する。
- 9 その他
 - (1) 火災に対する訓練は従来より行なっている灘消防署との合同訓練。
 - (2) 台風の接近が報じられている時には、各部署窓を閉めロックしなくてはならない。この事の最終確認は施設係が行なう。
 - (3) 自家発電機の整備と軽油の備蓄（落雷による停電にも対応）。
 - (4) ラジオ付きライト、ヘルメット、拡声器付きマイクなど備蓄。
 - (5) 携帯電話（NTT?）、パソコンネットワークの充実を計る必要がある。
 - (6) ローソクの備蓄。
 - (7) 予測される災害（洪水、台風など）の場合、あらかじめ水を汲みおく。
 - (8) 火災以外、入院患者さんは院外に出ないことを原則とする（別紙マニュアル）。（本マニュアルは H 7 年 4 月 1 日より実施する）